

編集後記

国内外を問わず研究の進歩がめざましい時代だが、本学の研究も若手を中心にますます盛んになっていることが今回のシンポジウムの内容から推察されるところである。21世紀を目前にして世代交代の時期に入ったとの感のある本学医学部、そして本会にとって心強く思われる。

英文論文の発表が要求される時代だけに、本会への原著の投稿が少ないものと思われるが、発足以来、年に数号の出版は編集委員全員の願いでもある。しかし、積み重ねが重要であるし、将来の隆盛を夢見て続けなければ

ならない責務と考えている。会員の皆様のさらなるご協力をお願いする次第である。

本号には、定年退官の耳鼻咽喉科学講座水越鉄理教授の最終講義、および昨年12月赴任され内科学第2講座を主宰されている井上博教授の就任講演が掲載されております。水越鉄理教授には長年にわたり本学の教育・研究・診療の発展のためいろいろ尽くされ本当にご苦労さまでした、また本会のためにもご尽力いただき有難うございました。

(川崎 匡)

編集委員

川崎 匡(委員長)

飯田 博行 田澤 賢次
上村 清 渡辺 明治
川真田 聖一